

老舗名	小津和紙 E組 3班
Q. 1	和紙はどのようにして長持ちするのですか。
A. 1	楮（こうぞ）・三桮（みつまた）・雁皮（がんび）等の植物の皮から、和紙になる繊維を取り出し、化学薬品を極力使わずに作るため長持ちします。
Q. 2	和紙を1枚作るのにどれくらいの時間がかかりますか。
A. 2	皮を剥いだ状態から、約10日間前後（作る和紙の種類によってかかる日数も様々です）
Q. 3	どうやって和紙に色をつけるのですか。
A. 3	和紙を漉く（作る）時に、漉舟（和紙原料の入った水槽）に染料を入れてから漉く方法の他、原料自体を染めてから紙を漉く「先染め」、漉き上がった紙に後加工として刷毛染め等で着色する「後染め」の2種類があります。
Q. 4	越前和紙や美濃和紙など和紙の種類などがたくさんありますが、小津和紙で扱っている和紙の種類はどのくらいありますか。
A. 4	弊社が取り扱っている産地別では、日本29県42産地。品目別では原紙・小物等を含めて約2,000種類。
Q. 5	和紙を使った商品は何がありますか。
A. 5	現代では、インテリア関係（ランプシェイド・タペストリー・掛軸・障子等）。衣類関係（ドレス・カーデガン・靴下等）。その他、タオルにも使用。原紙のまま使う場合と、原紙をスリット（数ミリ幅に切って）して、紙縊り（ねじる）にして糸として使われています。
Q. 6	一番高い和紙は何ですか。また何に使うのですか。
A. 6	弊社にある商品では、越前手漉き大高檀紙（53cm×67cm）。価格@17,280円/枚（税込）。格別な格式の高い儀式などの際、掛紙や包装紙として使用。又、文書を書く為、屏風・巻物等にも使われます。
Q. 7	お客様の年齢や職業などどのようなお客様が何に使うために買うのですか。
A. 7	購買層は、学生から年配者まで。書道・日本画・版画家が多いです。若者は美術大学生が多く、中年層以上は趣味や芸術の作家等です。
Q. 8	今後和紙の魅力をどのような人に伝えたいですか。
A. 8	和紙は日本の文化を陰で支えてきた素材（記録文書・絵画・書道等）です。芸術家の方々、日本の文化に興味を持つ外国人の方々、もの作りを志す学生の方々、のみならず一般の方々にもぜひ、和紙をきっかけに日本の文化と歴史に興味を持って頂きたいです。
Q. 9	外国の人がお店に和紙を買いに来ますか。外国の人からの一番人気の商品は何ですか。
A. 9	お店にくる外国人は30%以上。友禅紙・ポストカード・毛筆ペン等が人気です。
Q. 10	洋紙を輸出入することはありますか。あるならば、どのような国ですか。また、どのような使い道ですか。
A. 10	弊社は和紙専門店ですので、洋紙の輸出入はしていません。